

# 子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業 (都市と農山漁村の教育交流事業) ←※①～④の区分を記載

ふるさと元気づくりパワーアップ事業

大館市教育委員会 生涯学習課

## 【事業のポイント】

- 大館市独自のツール家庭教育推進事業出前交流
- 家庭教育支援チーム・中・高・大学生のスキルを通じた交流
- 交流を通し、人と関わる楽しさを学ぶ、互いの元気づくりにつながる
- まちづくりに貢献できる若者の育成
- 市町村職員同士、参加スタッフ・学生同士の意見交換



## 1. 企画

### (1) 事業実施の背景

大館市の社会教育・学校教育・家庭教育・幼児教育をプラットフォームと捉え、家庭教育支援チーム・学生ボランティア(中・高・大学生)・生涯学習奨励員・学校関係職員・一般ボランティアの技術のノウハウを生かした講座や遊びを実施し、癒しの時間を提供。気仙沼市の公民館を会場に出会い交流事業を行う。

### (2) ねらい

交流による訪問先・参加者双方の元気づくり。参加者の地域貢献活動への意欲向上やふるさと大館への愛着心向上、家庭教育支援チーム員の資質向上。

## 2. 実施概要

### (1) 地域プラットフォームの構成

- ・大館市校長会会長
- ・大館市教育委員会学校教育課課長
- ・大館市教育委員会研究所所長
- ・大館市小・中学校PTA連絡協議会会長
- ・秋田看護福祉大学学部長
- ・秋田県立大館桂桜高校校長
- ・秋田県北NPO支援センター事務局長
- ・家庭教育支援チーム

### (2) 具体的な取組の概要

※各取組について写真や図表等あれば掲載してください。

### (3)実績スケジュール

月 日	内 容
8月18日	第1回 教育交流事業実行委員会
8月19日	気仙沼市 階上公民館
9月9日	気仙沼市 本吉公民館
9月16日	気仙沼市 大谷公民館
平成30年3月13日	第2回 教育交流事業実行委員会(委託期間外)

### 3. 成果と課題

#### (1) 成果

参加者の感想より抜粋

- ・私は、被災地である気仙沼市に今回初めて行きました。(中略)改めて私たちが被災地の人たちにできることを考えて実行していきたいと思いました。
- ・(前略)これからももっと復興へと近づいていけるように、私たちもボランティアとして手伝っていききたいと思いました。
- ・(前略)現地の様子は今も震災による形跡は少なからず残っているものの、復興に向けて大きく前に進んでいるように思えた。(中略)今回の経験は自分にとって貴重で思い出に残る素晴らしいものになった。

#### (2) 課題

○次年度以降の展開について

平成30年3月13日に行われた第2回実行委員会において、大学を会場としたこれまでの活動の報告会を実施する方針となり、気仙沼を訪問しての交流活動は行わないこととなった(次項目「4. 地域プラットフォームの展望」へ詳細を記載)。

### 4. 地域プラットフォームの展望(今後の方向性・取組等)

○次年度をひとつの区切りと位置づけ、地元大学を会場とした成果報告会を実施

大館の『元気づくり』活動を一般市民や事業参加者が再認識・再発見する機会を設ける。また、被災地支援等の活動を行っている民間団体へ声掛けを行い、同様の活動を行っている団体同士の交流の場としての機能を持たせる案についても検討していく。

○民間の子育てサポート活動グループ主導による、訪問交流活動の実施

平成30年度3月13日に行われた第2回実行委員会において、今年度参加したグループより、次年度自主事業としての実施が可能かどうか検討しているとの報告があった。これを受け、民間の任意団体が主導となって地域プラットフォームが活動していくことを今後の方向性と位置づけた上で、その実現に向け取り組んでいく。

### 5. 団体プロフィール

<p>※団体概要や連絡先を記載してください。 施設の写真等の掲載も可能です。</p>	<p>写真 ※キャプションも</p>
--	------------------------